

# 「神戸創生戦略」「神戸2020ビジョン」 検証シート

## 1 若者に魅力的なしごとづくり

資料5

### ●具体的な施策(1)「革新」を生み出す新たな起業・創業、新事業創出支援の展開

<b>1 「神戸スタートアップオフィス」の本格展開</b>
【27年度の取組み実績】 ビジネスプランコンテスト「グローバル・スタートアップ・ゲートウェイ神戸」により選考した国内外の優秀な起業家または起業家候補(スタートアップ)に対して活動拠点を提供するとともに、専門家や民間支援事業者(アクセラレータ)が有するノウハウを活用して、重点的な支援を行う起業家育成プログラムを提供した。
<b>2 起業に向けた「短期重点支援プログラム」の実施</b>
【27年度の取組み実績】 ビジネスプランコンテスト「グローバル・スタートアップ・ゲートウェイ神戸」により選考した国内外の優秀な起業家または起業家候補(スタートアップ)に対して活動拠点を提供するとともに、専門家や民間支援事業者(アクセラレータ)が有するノウハウを活用して、重点的な支援を行う起業家育成プログラムを提供した。
<b>3 シリコンバレーへの派遣交流プログラムの実施</b>
【27年度の取組み実績】 神戸での起業を志す学生や起業家候補をシリコンバレーに派遣する交流プログラムを実施し、若者の起業家マインドを醸成した。
<b>4 世界トップレベルのスタートアップ育成支援団体の神戸への誘致及び連携</b>
【27年度の取組み実績】 なし(28年度～)
<b>5 起業家交流プログラムの実施</b>
【27年度の取組み実績】 国内外で活躍する起業家を、市内の中学・大学に派遣する交流プログラムを実施した。
<b>6 新事業創発プログラムの実施</b>
【27年度の取組み実績】 『「若者に選ばれるまち」の具体化 ～神戸版SXSW(サウス・バイ・サウスウェスト)の可能性について～』をテーマに、神戸創生会議(平成28年3月21日)を開催した。若手経営者・学識経験者等95名の参加者が、分野を超えた自由な発想で、神戸らしさのあるイベントの開催に向けた事業アイデアの創出に取り組んだ。
<b>7 知的財産の活用・産業化</b>
【27年度の取組み実績】 県内唯一の技術移転機関である(公財)新産業創造研究機構の協力を得て、大企業等の特許や大学等の研究成果を活用し、市内中小企業の新製品・新技術の開発を推進した。
<b>8 スタートアップ支援への「ふるさと納税」の活用</b>
【27年度の取組み実績】 なし(28年度～)
<b>9 人材交流型新事業創造プラットフォームの創設</b>
【27年度の取組み実績】 なし(28年度～)

<b>【KPI 27年度実績】</b>
・短期重点支援プログラムに対する投資家からの資金投入件数、資金投入額 なし ※ただし27年度に支援を行ったスタートアップ1社については28年度に資金投入実績あり
・世界トップレベルのスタートアップ育成支援団体による投資件数 ※計画期間対象外
・新事業創発プログラムによる事業創出件数 なし ※事業アイデアの具現化は、28年度以降
・(公財)新産業創造研究機構による知財活用支援による製品化・事業化件数 9件
・スタートアップのための成長資金調達額 ※計画期間対象外
・新事業創造プラットフォームによる新事業の展開、新規企業の年間立ち上げ件数 ※計画期間対象外

# 「神戸創生戦略」「神戸2020ビジョン」 検証シート

## ●具体的な施策(2)成長産業の企業誘致等の促進

### 1 神戸医療産業都市の推進

#### 【27年度の取組み実績】

文部科学省の新規事業である、「世界に誇る地域発研究開発・実証拠点(リサーチコンプレックス)推進プログラム」に、全国で唯一本採択され(平成27年11月時点)、「健康科学」に根差した様々な産業の創出を目指して事業に取り組んだ。

進出を希望する企業の増加に伴うレンタルラボ不足を解消するため、「神戸医療イノベーションセンター」の整備に着手した。

次世代抗体医薬品の開発拠点の整備等が進み、医療関連進出企業が316社(平成27年度末時点)となった。

### 2 雇用の場を生み出す企業誘致の推進

#### 【27年度の取組み実績】

条例による税制優遇等を活用し、新たな活力を生む成長産業等の集積に積極的に取り組んだ。

また、創薬・医療機器・再生医療・ヘルスケア関連企業の誘致を積極的に進めた結果、医療関連進出企業・団体数は316社に達した。さらに、医療を中心とした産学官の連携を進めるとともに、企業間の交流会を通じてビジネス支援を行い、ポートアイランドへの進出企業の定着と成長の促進を行った。

### 3 みちのネットワークづくり

#### 【27年度の取組み実績】

大阪湾岸道路西伸部、神戸西バイパスの早期整備に向けて、国への要望活動、整備促進大会等を行い、大阪湾岸道路西伸部については、新規事業採択時評価が実施され、事業の必要性が認められた。

また、近畿圏の新たな料金体系の導入に向けて、国土幹線道路部会において神戸市の意見を申し入れた。

都市の円滑な交通を支えるとともに、良好な市街地の形成をはかり、安全で医道な都市生活と機能的な都市活動の基盤となる「都市計画道路」の整備を行った。

平成27年度は、神戸三田線等において道路拡幅工事等を実施し、安全で快適な道路空間の整備を進めた。

### 4 阪神港国際コンテナ戦略港湾のさらなる推進と、多様な貨物輸送の強化を通じた神戸港の港勢拡大

#### 【27年度の取組み実績】

「集貨」については、国の集貨支援制度を活用し、瀬戸内・九州方面からの集貨を進めるとともに、国や阪神国際港湾株式会社と一体となって、国内外の荷主企業・船会社をターゲットとしたポートセールスを実施した結果、取扱貨物個数は2年連続増加し、内航フィーダーネットワークは取り組み開始前の週68便(平成26年4月時点)から週95便(平成27年12月時点)に増加した。

「創貨」については、新たなコンテナ貨物の需要創出のため、国の創貨支援制度を活用し、ポートアイランドにおいて新たな流通加工センターの建設を進めた(平成28年4月竣工)。また、六甲アイランドでも新たな流通加工倉庫の建設が進んでいる。

「競争力強化」については、港湾物流の基盤整備として、埠頭用地の耐震化や航路・泊地の浚渫などを国直轄事業として進めた(平成28年4月よりRC-6、7に係る六甲東水路を水深16mで暫定供用を開始)。このほか、高規格ガントリークレーンの整備などの事業を実施した。

### 5 神戸空港の機能充実

#### 【27年度の取組み実績】

(関西3空港一体運営に向けた取組み)

神戸空港コンセッションの準備作業を進めた。

(神戸空港の機能充実)

運用時間の延長、発着枠の拡大、国際チャーター便の制限の緩和、国際便の利用促進のためのCIQ体制の充実など国への要望等を行った。

兵庫県や商工会議所、航空各社、旅行会社とともに、利用促進に取り組んだ。

### 6 神戸空港島の戦略産業企業の集積・にぎわいの創出

#### 【27年度の取組み実績】

進出企業への敷地拡張の働きかけや、航空機関連企業への誘致活動を行った。

神戸空港島のにぎわいを創出するため、集客イベントとして、「全日本モトクロス選手権 神戸大会(平成27年7月4日(土)、5日(日))」、「ハッピードリームサーカス 神戸公演(平成27年10月10日(土)～平成28年1月18日(月))」を誘致した。

### 7 兵庫県と連携した政府関係機関の移転誘致

#### 【27年度の取組み実績】

兵庫県と連携して移転要望を行った結果、理化学研究所の「科学技術ハブ推進本部関西拠点」の設置が決定した。

# 「神戸創生戦略」「神戸2020ビジョン」 検証シート

## 【KPI 27年度実績】

- ・誘致企業数(医療関連企業を含む) 53社
- ・雇用創出数(医療関連企業を含む) 1,480人
- ・阪神港の国際基幹航路等の便数(北米・欧州など)
  - ①欧州基幹航路 週2便
  - ②北米基幹航路 6曜日寄航
  - ③南米等航路 新規航路開設 未開設
- ・3空港一体運営による利便性向上・ネットワークの充実(就航都市数)6都市
- ・航空・宇宙関連企業及び集客・にぎわい施設の誘致件数 2件

## ●具体的な施策(3)次代の基幹産業の育成・振興 ①

### 1 航空・宇宙産業の育成

#### 【27年度の取組み実績】

航空・宇宙分野を含む戦略産業分野について、中小製造業投資促進等助成制度・挑戦企業等支援補助制度の内容を拡充し、重点的な支援による参入促進と積極的な取り組みへの後押しを行った。

また、航空・宇宙分野への共同受注・協業体制の構築やPR・販路開拓に取り組む企業グループに対し、活動費用の一部を補助するとともに、経験豊富なコーディネーターによる受注獲得等の支援を行った。併せて、中長期的な航空宇宙産業のあり方や人材育成を柱とした産学官連携の方策等を検討するための調査を実施した。

### 2 神戸医療産業都市の推進

#### 【27年度の取組み実績】

文部科学省の新規事業である、「世界に誇る地域発研究開発・実証拠点(リサーチコンプレックス)推進プログラム」に、全国で唯一本採択され(平成27年11月時点)、「健康科学」に根差した様々な産業の創出を目指して事業に取り組んだ。

進出を希望する企業の増加に伴うレンタルラボ不足を解消するため、「神戸医療イノベーションセンター」の整備に着手した。次世代抗体医薬品の開発拠点の整備等が進み、医療関連進出企業が316社(平成27年度末時点)となった。

### 3 「インダストリー4.0 神戸プロジェクト」の推進

#### 【27年度の取組み実績】

なし(28年度～)

### 4 水素産業の育成

#### 【27年度の取組み実績】

なし(28年度～)

### 5 ロボット産業都市の推進

#### 【27年度の取組み実績】

なし(28年度～)

### 6 IT・データを活用した施策の推進

#### 【27年度の取組み実績】

データを活用した政策立案の実施を進めるとともに、オープンガバメント社会の構築に取り組んだ。また、産学官連携によるデータ活用のための協働体制を構築し、アイデアソンやデータ活用勉強会を開催するとともに、ウェアラブルデバイスを使用した市民参加型のデータ実証事業を実施する等、新たな市民サービスの創出に取り組んだ。

### 7 アフリカなど成長市場との経済交流

#### 【27年度の取組み実績】

なし(28年度～)

# 「神戸創生戦略」「神戸2020ビジョン」検証シート

## 【KPI 27年度実績】

- ・神戸市の航空機関連の製造品出荷額 629億円
- ・市内中小企業に対する航空・宇宙分野の新規参入・受注拡大支援企業数 23社
- ・誘致企業数(医療関連企業を含む) 53社(再掲)
- ・雇用創出数(医療関連企業を含む) 1,480人(再掲)
- ・大手企業等との共同開発や部材提供等による水素産業参入企業数 5社
- ・ロボット産業への新規参入企業数 ※計画期間対象外
- ・サービスロボットの製品化件数 ※計画期間対象外
- ・オープンデータ公開件数 43件
- ・アフリカ市場におけるビジネス創出件数 -

## ●具体的な施策(4)次代の基幹産業の育成・振興 ②

### 1 「食都 神戸2020」構想のさらなる推進

#### 【27年度の実績】

ローカルプログラム(市内向けプログラム)としては、地産地消のライフスタイル化の推進のため、東遊園地でのファーマーズマーケットを開催した。また、神戸市内の農漁業者、企業、大学が一体となって、神戸産農水産物の新たな「ものづくり」と3者の「ネットワークづくり」をすすめる「KOBEにさんがろくPROJECT」を実施した。

グローバルプログラム(世界向けプログラム)としては、平成27年4月、行政・生産者・流通業者等で「食都神戸」海外展開促進協議会を設立し、「神戸の食」を一体的に海外へ向けて発信する体制を整えた。協議会では、世界最大級の食の見本市「香港フードエキスポ2015」への出展や、香港やシンガポールでの「神戸フェア」の開催などを行い、イチゴやイチジク、梨の輸出を実現した。

### 2 新たな農業関連産業の創出

#### 【27年度の実績】

神戸フルーツ・フラワーパークでは、農業ICT導入実証、人工光型植物工場を活用した戦略作物の生産実証、新規就農者や農業サポーターを育てる人材育成事業などを行い、例えば農業ICT導入実証では、最先端園芸ハウス事業をはじめ、環境制御装置を備えた温室に温度や湿度などを測定するセンサーを設置し、そのデータを利活用するイチゴ栽培や、熱帯果樹の苗木の育成試験などに取り組んだ。また、市内農家のハウス12か所に農業ICTセンサーを試行的に設置し、勉強会を開催するなど、農家と連携した取り組みを実施した。

### 3 新たな「道の駅」の整備・活用

#### 【27年度の実績】

平成27年9月に「道の駅」を整備・運営する民間事業者を公募・決定し、平成29年3月のオープンにむけて整備に取り組んだ。

## 【KPI 27年度実績】

- ・ファーマーズマーケット年間開催回数・来場者数 9回、4,500人
- ・農水産物輸出品目数 3品目
- ・農業へのICT導入人数 12人
- ・新たな「道の駅」の年間来場者数 ※計画期間対象外

## ●具体的な施策(5)神戸の中小企業・商業事業者等の競争力強化

### 1 神戸の産業の国際化推進

#### 【27年度の実績】

海外ビジネスコーディネーターを東南アジア地域としてシンガポール、欧州地域として英国のロンドンに、1名ずつ配置。

東南アジア(シンガポール)では現地での見本市や商談会での調整・アドバイスやマッチング等を実施、欧州(英国(ロンドン))では神戸市と、現地のクラスター関係機関とのマッチングや、産業レポートの作成(航空宇宙産業、インバウンド観光)等を行った。

1月には米国のライター、2月にはシンガポール及び東南アジア地域の有力なブロガーを招聘し、灘の酒、神戸ビーフ、神戸スイーツをはじめとした神戸の食の物産、北野異人館街、酒蔵、明石海峡大橋など特徴的な観光資源を取材してもらった。

### 2 中小企業等の海外展開促進支援の実施

#### 【27年度の実績】

海外展開に伴うリスク軽減、競争力の強化、本社への利益還元等を通じた地域経済の活性化のため、市内中小企業を対象に登録アドバイザーの派遣や各種セミナーの開催、海外展示会出展に伴う補助金交付などを行った。

## 「神戸創生戦略」「神戸2020ビジョン」検証シート

<b>3 水・インフラ事業の海外展開に向けた市内企業等の支援の実施</b> <b>【27年度の取組み実績】</b> 「ベトナム国キエンザン省における水環境改善のための人材育成プログラム」を平成25年度から27年度の3か年にわたり実施した。下水道を含む水環境改善方策、市民啓発などについて技術協力をを行い、平成28年1月に最終報告会を実施した。 平成27年12月には、これまでの4者に加え、新たに1社と「水・インフラ事業の海外展開等に関する相互協力協定」を締結した。
<b>4 「インダストリー4.0 神戸プロジェクト」の推進</b> <b>【27年度の取組み実績】</b> なし(28年度～)
<b>5 航空・宇宙産業の育成</b> <b>【27年度の取組み実績】</b> 航空・宇宙分野を含む戦略産業分野について、中小製造業投資促進等助成制度・挑戦企業等支援補助制度の内容を拡充し、重点的な支援による参入促進と積極的な取り組みへの後押しを行った。 また、航空・宇宙分野への共同受注・協業体制の構築やPR・販路開拓に取り組む企業グループに対し、活動費用の一部を補助するとともに、経験豊富なコーディネーターによる受注獲得等の支援を行った。併せて、中長期的な航空宇宙産業のあり方や人材育成を柱とした産学官連携の方策等を検討するための調査を実施した。
<b>6 神戸医療産業都市の推進</b> <b>【27年度の取組み実績】</b> 文部科学省の新規事業である、「世界に誇る地域発研究開発・実証拠点(リサーチコンプレックス)推進プログラム」に、全国で唯一本採択され(平成27年11月時点)、「健康科学」に根差した様々な産業の創出を目指して事業に取り組んだ。 進出を希望する企業の増加に伴うレンタルラボ不足を解消するため、「神戸医療イノベーションセンター」の整備に着手した。 次世代抗体医薬品の開発拠点の整備等が進み、医療関連進出企業が316社(平成27年度末時点)となった。
<b>7 産学官の連携による競争力強化支援の実施</b> <b>【27年度の取組み実績】</b> 新製品・新技術の開発に向けた補助金申請や機器利用、新商品向けのデザイン支援を実施した。
<b>8 商店街・小売市場の空き店舗への挑戦</b> <b>【27年度の取組み実績】</b> 地域商業活性化支援事業等により、「集客力向上・売上向上・地域課題解決」をめざし、商店街・小売市場が自ら企画・提案する事業を一括して柔軟に支援することで、地域の個性を活かした取り組みによるまちの魅力とにぎわいの創出をはかった。 また、民間活力を導入した空き店舗対策プロジェクトにより、多くの商店街が課題として認識する「空き店舗数の増加、後継者不足(潜在的空き店舗の増加)」に対して、企業や大学等の民間事業者から提案を広く募集し、対象の商店街とマッチングさせ事業を実施することで、他の商店街のモデルとなるような活性化事業を支援した。

<b>【KPI 27年度実績】</b> ・海外展示会等出展数 12社 ・神戸市の航空機関連の製造品出荷額 629億円(再掲) ・市内中小企業に対する航空・宇宙分野の新規参入・受注拡大支援企業数 23社(再掲) ・誘致企業数(医療関連企業を含む) 53社(再掲) ・雇用創出数(医療関連企業を含む) 1,480人(再掲) ・神戸リエゾン・ラボ(ものづくり工場内)活用による新規開発件数 13件 ・空き店舗年間解消件数 19件
--

### ●具体的な施策(6)人材の確保・育成

<b>1 大学等の集積を活かした人材の育成・定着</b> <b>【27年度の取組み実績】</b> 大学等が持つ優れた知的資源をまちづくりや経済の活性化等に生かしていくため、市内24の大学・短大、高専と「市長と学長との懇談会」を開催するとともに、大学と行政・地域等との橋渡しを行う等、連携促進をはかった。
---

# 「神戸創生戦略」「神戸2020ビジョン」 検証シート

<b>2 グローバル人材の集積・育成</b>
【27年度の取組み実績】 市内中小企業が留学生の雇用について学ぶとともに、実際に留学生と交流する機会を持つことで外国人材の雇用への理解を深めることを目的とした「新・神戸アジア経営塾」を開催した。また、留学生の雇用に伴う相談についてアドバイザーの派遣を行い、外国人材の雇用を支援した。
<b>3 ものづくり人材確保・育成支援事業</b>
【27年度の取組み実績】 なし(28年度～)
<b>4 航空・医療・ロボット分野における新たな教育プログラムの実施</b>
【27年度の取組み実績】 平成29年度以降の教育プログラム実施に向けて、航空・医療・ロボット分野について、民間事業者や専門家等による検討会を設置するなど準備を進めた。
<b>5 大学等と連携した海事人材の育成と港湾技術継承の拠点づくり</b>
【27年度の取組み実績】 神戸開港150年を機に、一般財団法人港湾労働安定協会が設置運営する港湾技能研修センター(※)の誘致に取り組んだ。 ※現在愛知県豊橋市に立地し、港湾荷役機械操作等の業務に従事できる技能労働者の育成のための訓練を行う職業訓練施設
<b>6 奨学金を活用した大学生等の地方定着の促進</b>
【27年度の取組み実績】 なし(28年度～)

【KPI 27年度実績】
・学生・教職員に対する市内就職の意識啓発、市内企業とのマッチング等の年間実施件数 10件
・就労目的の在留資格を持つ外国人の数 4,436人
・中小製造業と若年者との年間マッチング件数 -
・神戸市立工業高等専門学校における新たな教育プログラムの設置件数 ※計画期間対象外

## 2 若者を惹きつける魅力づくり

### ●具体的な施策(1)移住・定住の促進

<b>1 移住促進に向けた都市プロモーションの展開</b>
【27年度の取組み実績】 「市民・職員協働プロジェクトチーム」での検討を踏まえ、市外在住の若年層をターゲットに、都市プロモーションサイトの構築や暮らし体験事業「LIVELOVEKOBE」を実施した。 また、経済観光局と連携した小冊子の発行等により、神戸の居住地としての魅力を首都圏に向けて広くPRした。
<b>2 首都圏からの高度人材獲得</b>
【27年度の取組み実績】 なし(28年度～)
<b>3 神戸版CCRC構想の検討</b>
【27年度の取組み実績】 なし(28年度～)
<b>4 「神戸のライフスタイル」魅力の見える化・発信</b>
【27年度の取組み実績】 神戸のライフスタイルの中にある観光価値に関する検証や神戸市内での観光客のスマホ検索分析に取り組むとともに、首都圏をターゲットとしたパブリシティの強化やクロスメディア発信によりプロモーションを強化した。また、神戸ならではの特別感のあるまち歩きや体験を行う「おとな旅・神戸」の実施により、神戸の新たな楽しみ方の発信に努めたほか、神戸フィルムオフィスによる映像作品誘致を通じ、映像を通じた神戸のまちの発信に努めた。

# 「神戸創生戦略」「神戸2020ビジョン」 検証シート

## 5 神戸地場産業のプロモーション

【27年度の取組み実績】

なし(28年度～)

【KPI 27年度実績】

- ・市内宿泊客数 529万人(暦年)
- ・外国人観光客数 107.9万人(暦年)
- ・観光入込客数 3,598万人(暦年)
- ・観光消費額 3,686億円(暦年)
- ・「MADE IN KOBE」プロダクト(コラボ商品)の商品化件数 ※計画期間対象外

### ●具体的な施策(2)大学等の活性化

#### 1 大学等の集積を活かした人材の育成・定着

【27年度の取組み実績】

大学等が持つ優れた知的資源をまちづくりや経済の活性化等に生かしていくため、市内24の大学・短大、高専と「市長と学長との懇談会」を開催するとともに、大学と行政・地域等との橋渡しを行う等、連携促進をはかった。

#### 2 大学生等の市内就職の推進

【27年度の取組み実績】

合同企業説明会を2回、合同就職面接会を2回、合計4回実施した。

#### 3 グローバル人材の集積・育成

【27年度の取組み実績】

市内中小企業が留学生の雇用について学ぶとともに、実際に留学生と交流する機会を持つことで外国人材の雇用への理解を深めることを目的とした「新・神戸アジア経営塾」を開催した。また、留学生の雇用に伴う相談についてアドバイザーの派遣を行い、外国人材の雇用を支援した。

【KPI 27年度実績】

- ・学生・教職員に対する市内就職の意識啓発、市内企業とのマッチング等の年間実施件数 10件(再掲)
- ・就労目的の在留資格を持つ外国人の数 4,436人(再掲)

### ●具体的な施策(3)都心・三宮の再整備

#### 1 三宮周辺地区の『再整備基本構想』の推進

【27年度の取組み実績】

平成27年9月に、神戸の都心の未来の姿 [将来ビジョン] および三宮周辺地区の『再整備基本構想』を策定した。

将来ビジョンと再整備基本構想の実現に向けて、全庁一体となり迅速かつ着実に推進するために、「都心三宮推進本部」を設置した。また、関係部局の相互の連携により早期に取り組むべき内容については4つの部会を設置し、政策を推進した。

平成28年1月9日には、参加者が都心の将来を対象にしたプロジェクトを考え議論することで、市民の活動を呼びかけとして頂くことを主な目的とした「神戸の未来を創る300人のBE KOBE会議」を開催した。

#### 2 公共交通を中心とした安全で快適な交通環境の形成

【27年度の取組み実績】

LRT・BRTについて、平成26年度に事業者5社より提案された事業計画のアイデアを基に、新たな公共交通システムとしての神戸市への導入可能性の検討を進めた。

ワンウェイ型カーシェアリングについて、実証実験「sea:mo」(シーモ)を実施した。

コミュニティサイクルについて、「こうべリンクル(通称コベリン)」を実施。ポート数を6箇所から10箇所に拡大した。

## 「神戸創生戦略」「神戸2020ビジョン」 検証シート

<b>3 快適で便利な公共交通の推進</b>
【27年度の取組み実績】 神戸市内の路線バスの利用促進・利便性向上を図るため、市内の全路線バス事業者12社局を構成員とした「神戸市路線バス利用促進協議会」を立ち上げ、各交通事業者及び行政等の連携による各種施策の実施に向けた検討を進めた。 また、現在のバス乗降所のあり方及び新たなバスターミナルの整備に向けた検討を進めていくため、三宮周辺で発着しているバス事業者の代表と行政による「三宮周辺地区のバスのあり方研究会」を平成28年3月に開催し、意見交換や情報交換を行った。今後、定期的(年2回程度)に研究会を開催し、研究会での議論を踏まえて、検討・調整を進めていく。 利便性の向上のため、スマートフォンで市内の公共交通機関の乗継検索ができ、現在地からの所要時間がすぐ分かる「KOBE乗継検索」のサービス提供開始や、バスロケーションシステムの実証実験を行った。また、バス事業者2社に対し、バスロケーションシステム導入のための補助支援を行った。
<b>4 景観の高質化</b>
【27年度の取組み実績】 神戸の都心の未来の姿(将来ビジョン)、三宮周辺地区の「再整備基本構想」の策定にあわせ、神戸の都心や三宮駅周辺にふさわしい景観のあり方について検討した。 「再整備基本構想」の策定後初めての大規模建築計画となる(仮称)神戸阪急ビル東館建て替え計画において、同構想及び神戸市景観計画等に基づき、景観調整を行った。 景観法、都市景観条例等の規定に基づく届出の際に景観調整を行ったほか、一定規模以上の建築物については届出前に景観デザインに関する協議を行うことを条例に位置付けており、神戸市都市景観審議会景観アドバイザー専門部会を開催(18回)した。 三宮駅前景観形成連絡協議会のほか、都心地域の各協議会が、引き続きガイドラインや市民協定を運用し、景観調整を行った。
<b>5 魅力的な公共空間の創出</b>
【27年度の取組み実績】 都心部における人に優しく快適な道路空間の創出を目指し、路線の特性等に応じて歩行者、自転車、自動車などのバランスよい組み合わせを検討し、歩行者を中心としたゆとりある空間作りに取り組んだ。葺合南54号線において、平成28年度工事着手に向けて、詳細設計及び関係機関協議を行った。 三宮中央通り地下通路及び平成28年2月に愛称が決定した三宮プラッツ(サンクンガーデン)において、音楽ライブやマルシェなど、にぎわい創出に向けたモデル事業を実施した。また、市民や沿道企業等の意見を取り入れながら、ニーズの把握やハード・ソフト面の課題を整理し、地下公共空間のあり方を検討した。

【KPI 27年度実績】
・三宮駅周辺ビル再建等検討件数 5件 ・フラワーロード光のミュージアム整備延長 0.22km ・都心部における公共空間のリデザイン実施延長 0 km

### ●具体的な施策(4)開港150年・ウォーターフロントの再整備

<b>1 新港突堤西地区等の再開発</b>
【27年度の取組み実績】 新港第1突堤緑地にコンベンションホールを備えたホテルのオープンに合わせ、夜間景観にも配慮した緑地整備や、アクセス道路の改良工事などを行った。また、新たな福利厚生施設の建設に向けて、実施設計業務を実施した。
<b>2 市民と港湾関係者が集い交流する施設の整備</b>
【27年度の取組み実績】 新たな総合福利厚生施設の建設に向けて、デザインプロポーザル募集を行い、年度末までに実施設計業務を完了した。
<b>3 メリケンパークの再整備</b>
【27年度の取組み実績】 平成29年の神戸開港150年にあわせた再整備に向けて、メリケンパーク周辺企業で構成される「メリケンパーク協議会」からの意見や、神戸開港150年実行委員会からの意見を聞きながら検討を進めた。
<b>4 須磨海岸エリアの再整備</b>
【27年度の取組み実績】 JR 須磨駅前区間において、休止していた養浜事業を平成27年度より再開し、子ども連れが安全・安心に利用できるよう遠浅海岸整備に着手した。



# 「神戸創生戦略」「神戸2020ビジョン」 検証シート

## 5 夜間景観の演出

### 【27年度の取組み実績】

新港第1突堤緑地におけるコンベンションホールを備えたホテルのオープンに合わせ、新たに夜間景観にも配慮した緑地整備を行った。

## 6 都心からのアクセス機能や回遊性の向上

### 【27年度の取組み実績】

LRT・BRTについて、平成26年度に事業者5社より提案された事業計画のアイデアを基に、新たな公共交通システムとしての神戸市への導入可能性の検討を進めた。

ワンウェイ型カーシェアリングについて、実証実験「sea:mo」(シーモ)を実施した。

### 【KPI 27年度実績】

- ・住機能の導入及び新たな施設立地による年間集客人数 -
- ・市民と港湾関係者の交流施設(多目的スペース)の利用率 -
- ・観光入込客数(神戸港) 428万人(暦年)
- ・須磨海岸年間来場者数 85万人
- ・須磨海岸の健全度の向上(ファミリー向けイベント年間開催件数の増加) 79件
- ・神戸港の夜間景観演出エリアの拡大件数 5エリア

## ●具体的な施策(5)新長田地区の活性化

### 1 新長田駅南再開発エリアへの兵庫県・神戸市関係機関の共同移転

#### 【27年度の取組み実績】

平成27年度は、兵庫県等、各関係機関と移転に向けて協議を進めた。

### 2 くにづかりポーンプロジェクトの推進

#### 【27年度の取組み実績】

地域が主体となった「くにづかりポーンプロジェクト」を推進し、商業活性化モデル事業(第2弾)「アジアン・マーケット・スクエア」の開業に向けて準備を進めた(平成28年7月16日開業)。

### 3 市街地西部地域の活性化

#### 【27年度の取組み実績】

外部有識者と所管部署の職員による「地下鉄海岸線・市街地西部活性化コンソーシアム」を新たに設置し、民間事業者からの提案による活性化事業の実現・定着に向けた取り組み及び民間事業者間の連携を進めるとともに、新たな提案も募る等、さらなる活性化事業の創出に取り組んだ。

また、兵庫運河の活性化に向けて、新川運河周辺の夜間ライトアップ及び親水護岸の実施設計を行った。

さらに、アニメーション神戸関連事業として、「KOBEぽっぷカルチャーフェスティバル」を開催する等、市街地西部地域の活性化に取り組んだ。

### 【KPI 27年度実績】

- ・新長田駅南再開発エリアの夜間人口 5,834人(平成28年3月)
- ・新長田駅南再開発エリアの昼間人口 3,573人(平成26年7月)

## ●具体的な施策(6)「神戸里山暮らし」の推進

### 1 「神戸里山暮らし」の推進

#### 【27年度の取組み実績】

地域団体が地域の特色を活かして実施する里づくり事業への支援を拡充するとともに、地域の計画づくりの一部を大学研究室やコンサルタントに委託することにより、里づくり計画の策定・見直しを進め、農村地域の魅力アップをはかった。

また、農村地域の空家や農地情報を集約し、興味のある都市住民を農村地域への移住・定住につなぐコーディネーターを配置するなど、定住促進につながる支援制度を創設し、都会の利便性と田舎の心地よさを兼ね備える「神戸・里山暮らし」を促進した。

さらに、人と自然との共生ゾーンの指定等に関する条例を平成28年3月に改正し、農村定住起業等の取り組みなど規制緩和を進めた。

# 「神戸創生戦略」「神戸2020ビジョン」 検証シート

## 【KPI 27年度実績】

- ・新規就農者数 54人
- ・農村部への移住・起業数 5件

## ●具体的な施策(7)六甲山の魅力化促進

### 1 緑豊かな六甲・摩耶の活性化

#### 【27年度の取組み実績】

摩耶山周辺ハイキングコース、摩耶山史跡公園エリアの整備を行った。  
JR摩耶駅で、六甲山の間伐材を利用した内装やベンチの設置を行った。  
六甲山上の保養所等の遊休施設利活用に向け、県と共同で六甲山土地活用プロジェクトチームの準備会を発足した。

### 2 六甲・摩耶観光の振興

#### 【27年度の取組み実績】

六甲・摩耶活性化プロジェクトとして、山上の事業者などとの協働により、民間主体の新たな山上活性化策の実施を支援したほか、増加する外国人観光客への対応として、六甲・摩耶山上のドライブウェイ沿線の誘導サインや案内看板の多言語化を実施した。

## 【KPI 27年度実績】

- ・六甲・摩耶の観光入込客数 201万人(暦年)

## ●具体的な施策(8)神戸ブランドを牽引する魅力あふれるまちづくり

### 1 歴史的建築物等の保全活用

#### 【27年度の取組み実績】

歴史的建築物の現状調査(建物調査、所有者アンケート等)や、景観形成重要建築物等の指定、活用事例などを発表する交流会を実施した。

### 2 神戸ブランドを牽引する住宅地の保全と育成

#### 【27年度の取組み実績】

山の手住宅地の上質なまちなみを形成している景観資源の把握のため、御影山手地区を対象に景観資源基礎調査を実施した。

### 3 神戸らしい音風景(サウンドスケープ)の方向性の検討

#### 【27年度の取組み実績】

都心・ウォーターフロント(旧居留地、波止場町緑地、メリケンパーク)で、神戸を拠点に活躍する選曲家(DJ)が風景に合わせた音楽を流すイベントを実施した。

### 4 須磨海岸エリアの再整備

#### 【27年度の取組み実績】

JR 須磨駅前区間において、休止していた養浜事業を平成27年度より再開し、子ども連れが安全・安心に利用できるよう遠浅海岸整備に着手した。

### 5 クルーズ客船誘致の強化

#### 【27年度の取組み実績】

日本を代表するクルーズポートとして、神戸港の優位性を国内外の客船運航会社に発信し、開港150年(平成29年)に向けて、積極的な客船誘致を進めた。平成29年3月に実施される、世界でもっとも有名な客船といわれる「クイーン・エリザベス」初の日本発着クルーズの、発着港として神戸港が選ばれた。  
新たにアジアクルーズ等誘致インセンティブ制度を創設するとともに、乗船客へのおもてなし強化を図るための「おもてなし環境整備事業」を実施した。

## 【KPI 27年度実績】

- ・歴史的建築物等の保全活用に向けた景観形成重要建築物等の指定棟数 1棟(大江家住宅)
- ・須磨海岸年間来場者数 85万人(再掲)
- ・須磨海岸の健全度の向上(ファミリー向けイベント年間開催件数の増加) 79件(再掲)
- ・客船の年間入港隻数 97隻

# 「神戸創生戦略」「神戸2020ビジョン」 検証シート

## ●具体的な施策(9)観光客の誘致

<b>1 「神戸のライフスタイル」魅力の見える化・発信</b>
<p>【27年度の取組み実績】          神戸のライフスタイルの中にある観光価値に関する検証や神戸市内での観光客のスマホ検索分析に取り組むとともに、首都圏をターゲットとしたパブリシティの強化やクロスメディア発信によりプロモーションを強化した。また、神戸ならではの特別感のあるまち歩きや体験を行う「おとな旅・神戸」の実施により、神戸の新たな楽しみ方の発信に努めたほか、神戸フィルムオフィスによる映像作品誘致を通じ、映像を通じた神戸のまちの発信に努めた。</p>
<b>2 メディアの複合的な活用による訪日観光・神戸ブランドPRの推進</b>
<p>【27年度の取組み実績】          外国人観光客のさらなる集客を目的として、ダイレクトに神戸の魅力伝えるため、旅行番組や雑誌、ウェブジャーナリストなど様々なメディアを対象に、招請事業を行った。特にタイにおいては、ネットワーク拠点を設置し、通年プロモーションによる現地目線でのメディア発信等を行った。</p>
<b>3 地域全体の観光マネジメントを一本化するプラットフォームの構築</b>
<p>【27年度の取組み実績】          平成27年12月に観光庁による「日本版DMO候補法人」の申請受付が開始されたことを受け、平成28年2月に神戸版DMOを含めた「地域プラットフォーム」のあり方を具体的に検討していくため、市と神戸国際観光コンベンション協会と連名で登録申請を行った。</p>
<b>4 ICTを活用したおもてなし環境の構築</b>
<p>【27年度の取組み実績】          外国人観光客のニーズに対応するため、KOBE Free Wi-Fiエリアの拡充を行ったほか、クラウド型サービスを利用したイベント・施設情報の集約・発信や観光公式アプリ「KOBE Official Travel Guide」について移動経路やクーポン機能を追加するなどコンテンツの拡充をはかった。</p>
<b>5 夜間景観を活かした新たな魅力づくり</b>
<p>【27年度の取組み実績】          夜間景観形成実施計画に基づき、フラワーロード「光のミュージアム事業」や神戸大橋のライトアップを実施し、推進委員会の開催(4回)、都心夜景10選の普及啓発、夜間景観NEWSの発行、夜間景観形成ガイドライン(南京町)の検討、夜間景観形成支援制度の運用(整備等助成、アドバイザー派遣)を実施した。</p>
<b>6 須磨海岸エリアの再整備</b>
<p>【27年度の取組み実績】          JR 須磨駅前区間において、休止していた養浜事業を平成27年度より再開し、子ども連れが安全・安心に利用できるよう遠浅海岸整備に着手した。</p>
<b>7 クルーズ客船誘致の強化</b>
<p>【27年度の取組み実績】          日本を代表するクルーズポートとして、神戸港の優位性を国内外の客船運航会社に発信し、開港150年(平成29年)に向けて、積極的な客船誘致を進めた。平成29年3月に実施される、世界でもっとも有名な客船といわれる「クイーン・エリザベス」初の日本発着クルーズの、発着港として神戸港が選ばれた。          新たにアジアクルーズ等誘致インセンティブ制度を創設するとともに、乗船客へのおもてなし強化を図るための「おもてなし環境整備事業」を実施した。</p>
<b>8 神戸らしい景観が見える場所の整備・育成</b>
<p>【27年度の取組み実績】          ビューポイントサインを新たに4か所に設置(保久良神社、六甲アイランドリバーモール、おらが山(高倉山)、須磨浦山上遊園回覧展望閣)、普及啓発として第3回神戸市都市デザイン賞の1部門としてデジタルフォトコンテストを開催した。</p>
<b>9 歴史的建築物等の保全活用</b>
<p>【27年度の取組み実績】          歴史的建築物の現状調査(建物調査、所有者アンケート等)や、景観形成重要建築物等の指定、活用事例などを発表する交流会を実施した。</p>
<b>10 神戸地場産業のプロモーション</b>
<p>【27年度の取組み実績】          なし(28年度～)</p>

# 「神戸創生戦略」「神戸2020ビジョン」 検証シート

## 11 G7神戸保健大臣会合等を契機とした神戸の発信

### 【27年度の取組み実績】

G7神戸保健大臣会合の成功に向け、兵庫県、神戸市、神戸商工会議所など関係団体からなる「G7神戸保健大臣会合推進協議会」を設立し、市民への周知と理解を深めるため、広報活動の実施及びフォーラムの開催など官民一体となって取組んだ。

## 12 MICEの推進

### 【27年度の取組み実績】

医学系を中心としたMICEの誘致に取り組むとともに、市民の関心が高いテーマについて分かりやすく説明する「市民公開講座」の開催支援などを通じてコンベンションの成果の市民還元に努めた。また、3～4年後の国内大型医学会について、誘致段階から大規模なホールや宴会場等のコンベンション施設を有する神戸ポートピアホテルと連携して一体的な営業を行ったことで、平成27年度中の誘致件数は過去最高の106件となった。

### 【KPI 27年度実績】

- ・市内宿泊客数 529万人(暦年)(再掲)
- ・外国人観光客数 107.9万人(暦年)(再掲)
- ・観光入込客数 3,598万人(暦年)(再掲)
- ・観光消費額 3,686億円(暦年)(再掲)
- ・観光客向け公式スマートフォンアプリ総ダウンロード数 23,000ダウンロード
- ・フラワーロード光のミュージアム整備延長 0.22km(再掲)
- ・須磨海岸年間来場者数 85万人(再掲)
- ・須磨海岸の健全度の向上(ファミリー向けイベント年間開催件数の増加) 79件(再掲)
- ・客船の年間入港隻数 97隻(再掲)
- ・歴史的建築物等の保全活用に向けた景観形成重要建築物等の指定棟数 1棟(大江家住宅)(再掲)
- ・「MADE IN KOBE」プロダクト(コラボ商品)の商品化件数 ※計画期間対象外(再掲)
- ・国際会議の開催件数 113件
- ・中・大規模の国内会議の開催件数 58件

## ●具体的な施策(10)芸術・文化、スポーツの振興

### 1 神戸の文化・芸術の創造発信プロジェクト

#### 【27年度の取組み実績】

なし(28年度～)

### 2 (仮称)神戸国際フルート音楽祭の開催

#### 【27年度の取組み実績】

なし(28年度～)

### 3 大規模スポーツイベントを通じた魅力の発信

#### 【27年度の取組み実績】

第5回神戸マラソンの開催では、震災から復興を遂げた神戸のまちを国内外に発信するため、復興の象徴であるひまわりの花をイメージした黄色の手袋(ひまわり手袋)を配布し、スタートセレモニー「2万人で咲かせる『感謝と友情』のひまわり」や沿道応援「みんなで咲かせる『感謝と友情』のひまわり」を実施した。

「ラグビーワールドカップ 2019」神戸開催に向けて、開催機運醸成のためのプロモーション活動やラグビーの普及啓発として、専用のホームページの開設、イングランド大会のパブリックビューイングを行った。また、神戸全体で大会を盛り上げていくため「ラグビーワールドカップ 2019 神戸開催準備委員会」を設立した。

東京 2020 オリンピック・パラリンピックに向けては、事前合宿等の誘致のため各国に赴いた。

4年に1度の生涯スポーツの国際競技大会である「関西ワールドマスターズゲームズ2021」で開催する競技種目について、組織委員会に10競技10種目の神戸市での開催希望申請書を提出した。

### 【KPI 27年度実績】

- ・まちかどでのステージ観客数 9,650人(平成26年度 9,250人 (目標)平成28年度 10,130人(前年度+5%))
- ・神戸市で開催される国際級・全国級スポーツイベントの開催件数 31件

# 「神戸創生戦略」「神戸2020ビジョン」 検証シート

## 3 若い世代の結婚・出産・子育て・教育を優先できる社会システムづくり

### ●具体的な施策(1)妊娠・出産・子育てに切れ目のない支援

<b>1 出会い・結婚の促進</b>
【27年度の実績】 兵庫県と協働し、市内各施設や事業所において「ひょうご出会いサポートセンター」の広報・周知を実施した。
<b>2 妊娠へのサポート・産後ケアの充実</b>
【27年度の実績】 妊婦健康診査に対する公費助成を引き続き行うとともに、生後4か月を迎えるまでの乳児のいる全世帯を対象とする新生児訪問指導や乳幼児健康診査を行い、心身の発達確認や疾病等の早期発見及び養育環境を把握し、健康の保持増進や育児支援、児童虐待の防止に努めた。 妊娠に戸惑っている方等の悩みに対し、正しい情報の提供や適切な支援機関につなぐ「思いがけない妊娠SOS」相談事業を実施するとともに、産後の育児不安が強く、家族等の支援が得られない方に宿泊や通所により母親の心身のケアと育児サポートを行う産後ケア事業を実施した。
<b>3 「子育て応援メール」の配信</b>
【27年度の実績】 子育てに関する不安や悩みを軽減し、孤立化を防止するため、妊婦や乳幼児の親やその家族等を対象に、子どもの成長過程、定期健診情報、妊娠・子育て生活のアドバイス、子育てイベントなどの情報を、妊娠週数や月齢に応じてタイムリーにメール配信する「こうべ子育て応援メール」を平成27年10月より開始した。
<b>4 子育て世帯への経済的支援の拡充</b>
【27年度の実績】 保育料について、低所得世帯から高所得世帯まですべての階層(生活保護世帯を除く)において、市単独で引き下げを行い、保護者の負担軽減を図っており、平成27年度決算において、(1)教育標準時間認定(1号認定)子どもの利用者負担額については、対国基準徴収率は86.9%、(2)保育認定(2号・3号認定)子どもの利用者負担額については、対国基準徴収率は75.3%であり、市の負担額は約24億円となった。 平成27年7月より、1・2歳児に対する所得制限を撤廃し、すべての3歳未満児の医療費の自己負担を無料化するなど、乳幼児等の医療費助成制度を拡充した。
<b>5 待機児童の解消</b>
【27年度の実績】 平成27年4月の子ども・子育て支援新制度の施行にあわせて、認定こども園・幼稚園・保育所等の教育・保育施設や小規模保育等を利用する保護者に対する給付等を行うほか、保育所等待機児童の解消を目指し、保育所等の新增設や、幼稚園の認定こども園への移行、待機児童の多くを占める3歳未満児を対象とした小規模保育の拡充や事業所内保育の活用などにより、約1,000人分の保育定員を確保した。 保育人材確保への支援を行うとともに、多様化する保育ニーズに対応するため、延長保育、一時保育等を実施した。
<b>6 学童保育の拡充</b>
【27年度の実績】 高学年の受け入れを開始するとともに、実施場所の確保をはかるため、学童保育コーナーの整備を進めたほか、職員体制の拡充や職員の処遇改善等を行った。
<b>7 「こうべ子育て応援プロジェクト」の始動</b>
【27年度の実績】 子育て応援サイト「ママフレ」に、希望するサービスが受けられる教育・保育施設等を検索し、地図上に表示する機能を追加するなど、子育てに関する情報発信を強化した。 子育てに関する不安や悩みを軽減し、孤立化を防止するため、妊婦や乳幼児の親やその家族等を対象に、子どもの成長過程、定期健診情報、妊娠・子育て生活のアドバイス、子育てイベントなどの情報を、妊娠週数や月齢に応じてタイムリーにメール配信する「こうべ子育て応援メール」を平成27年10月より開始した。
<b>8 子育て世代包括支援センターの設置</b>
【27年度の実績】 なし(28年度～)

# 「神戸創生戦略」「神戸2020ビジョン」 検証シート

<p><b>9 多様な地域子育て支援事業の推進</b></p> <p>【27年度の取り組み実績】 保護者の就労形態の多様化等に伴い生じる保育ニーズに対応するため、保育時間の延長や一時保育等、多様な保育サービスを提供した。 ファミリー・サポート・センターについては、協力会員養成講習会の開催回数を増やすとともに、センター職員を1名増員し、体制強化をはかった。</p>
<p><b>10 親・子世帯の近居・同居の促進</b></p> <p>【27年度の取り組み実績】 平成27年度は市外からの移転および市街地西部区域への移転について、上限額や助成対象範囲を拡大した。 また、PRについても、JR西日本京阪神主要駅・沿線保育園等で配布している無料の子育て情報誌に事業広告を掲載するなど、市外の子育て世帯にも広く周知するよう見直しを図った。</p>
<p><b>11 特に援助を必要とする家庭への支援</b></p> <p>【27年度の取り組み実績】 児童虐待防止対策として、虐待の早期発見、未然・再発防止に取り組んだ。 児童養護施設の入所児童をより家庭的な環境で養育するため、施設の養育単位の小規模化のための整備に対する助成を行うとともに、児童養護施設等入所児童に対し、学習塾費や学習環境改善のためのパソコン購入への助成を行った。 障がい児の療育体制の再構築として、のぼら学園を移転新築し、診療・相談機能を付加した「西部療育センター」として平成27年4月に開設するとともに、「総合療育センター」の機能を拡充するための整備を行った。</p>
<p><b>12 貧困の連鎖防止も含めたひとり親家庭支援施策の拡充</b></p> <p>【27年度の取り組み実績】 ひとり親家庭等への支援として、児童扶養手当や母子家庭等医療費助成、就業のための訓練促進費の支給等を行うとともに、大学生ボランティア等による学習支援を実施した。</p>

<p>【KPI 27年度実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・教育・保育施設等の利用定員 976人分の利用定員増により25,545人(平成28年4月1日)</li> <li>・学童保育で高学年を受け入れている施設の割合(公設)57.5%</li> <li>・延長保育実利用人数 3,830人</li> <li>・一時預かり利用人数 740,334人</li> <li>・ファミリー・サポート・センター週あたりの活動件数 247件</li> <li>・親・子世帯の近居・同居住み替え助成事業により親・子世帯が近居・同居を行った件数 75件</li> <li>・児童養護施設本体施設への措置・委託児童数の割合 86.0%</li> <li>・グループホームへの措置・委託児童数の割合 6.5%</li> <li>・里親等への措置・委託児童数の割合 7.5%</li> </ul>
--

## ●具体的な施策(2)教育環境の充実

<p><b>1 確かな学力の育成</b></p> <p>【27年度の取り組み実績】 児童生徒一人一人に応じたきめ細かな指導を行い、児童生徒の確かな学力や規範意識、豊かな人間性を育むため、教員と連携して少人数指導や同室複数指導などを行う、学ぶ力・生きる力向上支援員の配置を拡充した。 児童生徒の習熟度に応じた教材プリントが作成でき、映像や音声による解説機能の付いた学習支援ツールを全中学校に導入した。</p>
<p><b>2 「チーム学校」の教育力・組織力の強化</b></p> <p>【27年度の取り組み実績】 人事・組織面での学校園の裁量拡大や組織体制の強化に向けた検討を行った。 学籍や出欠、成績などを管理する「校務」について、業務の標準化やICT化を進め、他のシステム情報と連携することで、重複作業を減らし教職員の負担軽減につなげるためのシステム構築等を行った。 教育委員会事務局や関連部局から学校園へのチラシ等の配布物の送付について抑制をはかり、仕分や配布にかかる業務軽減に取り組んだ。 いじめ問題など学校だけでは解決困難なケースについて、スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカー、警察や弁護士等で構成される学校サポートチームにより、学校の支援を行った。また、いじめ問題などの未然防止、早期対応を行うため、各区担当の学校支援アドバイザーを配置し、活用している。</p>

# 「神戸創生戦略」「神戸2020ビジョン」 検証シート

<b>3 安全・安心な学校づくり</b>
【27年度の取組み実績】 安全・安心な学校づくりのため、災害時に避難所ともなる体育館や武道場の天井等を中心とした非構造部材について、その落下防止対策を実施した。 学校施設の外壁・屋根の改修を行い、児童・生徒の安全確保や教育環境の改善をはかるとともに、建物を長寿命化し財政負担の軽減・平準化をはかった。 小学校における不審者の侵入防止を目的として、校門付近への防犯カメラ設置を行った(小学校全校への設置を完了)。 子供たちの防犯意識を高め、危険予測や危険回避の力を育てることを目的として、平成26年度に作成した「防犯チェックシート」の内容を改訂し、チェックシートを活用した授業の実施を行った。 子ども見守り活動隊の構成員に対し、専門家(スクールガード・リーダー)によるスキルアップ研修を実施、警備のポイントや改善点などについて指導を行った。
<b>4 特別支援教育の推進</b>
【27年度の取組み実績】 各学校園が、こべ学びの支援センター、通級指導教室を有効に活用し、通常の学級に在籍する幼児・児童生徒に対して支援を行った。 外部人材を活用するなどして、特別支援教育コーディネーター、特別支援学校、特別支援学級、通級指導教室等の多様な学びの場を支える教職員の専門性を高める研修を行った。 特別支援教育にかかる配慮を要する児童生徒への支援のために、特別支援教育支援員の配置を拡充した。 (仮称)いづき明生支援学校の平成29年4月開校に向けて建設工事に着手するとともに、学校運営計画の策定や教育課程の編成など具体的な検討を進めた。
<b>5 国際的人材輩出校の誘致</b>
【27年度の取組み実績】 なし(28年度～)

【KPI 27年度実績】 ・学習支援ツール導入校数 122校(小学校40校、中学校82校全校) ・グラウンド等学校施設の安全性向上件数 ※計画期間対象外 ・特別支援学校に配置する看護師1人あたりの医療的ケア対応児童生徒数 6.8人 ・特別支援学校建設(新設2校)の進捗管理 25%
--

## ●具体的な施策(3)働き方改革の推進

<b>1 テレワークの推進</b>
【27年度の取組み実績】 なし(28年度～)
<b>2 女性の活躍推進</b>
【27年度の取組み実績】 「第3次神戸市男女共同参画計画」(計画期間：平成23～27年度)に基づき、「こべ男女いきいき事業所表彰」、「こべ男女共同参画推進月間」等の男女共同参画施策を推進するとともに、「第4次神戸市男女共同参画計画」(計画期間：平成28～32年度)を策定した。 また、企業・団体に勤務する女性を対象に将来リーダーとして活躍するためのスキルやコミュニケーション術を身につけていただくための「女性活躍推進プログラム@神戸」を引き続き実施した。
<b>3 女性の就職・再就職支援</b>
【27年度の取組み実績】 女性の就労や再就労を支援するためのセミナーや相談として、女性のための就業・チャレンジセミナー及び女性のための相談室(就業・チャレンジ相談)を実施した。また、県やNPO法人と共催で、「就業・チャレンジ相談会」や「【仕事と子育て】両立応援セミナー・カウンセリング」なども開催した。 就職を控えた学生に対しては、平成24年度から実施している女子学生社会人力アッププロジェクトを引き続き実施した。

# 「神戸創生戦略」「神戸2020ビジョン」 検証シート

## 4 障がい者が働く意欲を引き出せる多様な働き方の創造

### 【27年度の取り組み実績】

神戸市障害者就労推進センターを運営し、関係機関と連携をはかりながら就労支援を推進した。また、しごと開拓員を地域障害者就労推進センターに配置し、雇用先や体験就労の場の開拓や、作業受託の増に取り組んだ。このほか、特例子会社設立助成、「ふれあい商品」の商品力向上支援などを行った。

### 【KPI 27年度実績】

- ・新規在宅ワーカー数 ※計画期間対象外
- ・ネットモニター調査におけるワーク・ライフ・バランスの認知度 45.7%(平成28年8月実施)
- ・未就労女性支援件数 62件(相談：17件、セミナー：45件)

## 4 次世代の将来を約束できる環境づくり

### ●具体的な施策(1)公共交通網の充実

#### 1 公共交通を中心とした安全で快適な交通環境の形成

##### 【27年度の取り組み実績】

交通施策の検討に必要な基礎調査を行うとともに、平成28年度末の策定を予定している「神戸市地域公共交通網形成計画」について、神戸市地域公共交通活性化協議会において、交通事業者、市民代表、学識経験者、関係行政機関と協議を行った。地域の交通課題に主体的に取り組む地域に対し、専門家派遣、アンケート調査、試験運行等の支援を行った。LRT・BRTについて、平成26年度に事業者5社より提案された事業計画のアイデアを基に、新たな公共交通システムとしての神戸市への導入可能性の検討を進めた。ワンウェイ型カーシェアリングについて、実証実験「sea:mo」(シーモ)を実施した。コミュニティサイクルについて、「こうべリンクル(通称コベリン)」を実施。ポート数を6箇所から10箇所に拡大した。

#### 2 快適で便利な公共交通の推進

##### 【27年度の取り組み実績】

神戸市内の路線バスの利用促進・利便性向上を図るため、市内の全路線バス事業者12社局を構成員とした「神戸市路線バス利用促進協議会」を立ち上げ、各交通事業者及び行政等の連携による各種施策の実施に向けた検討を進めた。また、現在のバス乗降所のあり方及び新たなバスターミナルの整備に向けた検討を進めていくため、三宮周辺で発着しているバス事業者の代表と行政による「三宮周辺地区のバスのあり方研究会」を平成28年3月に開催し、意見交換や情報交換を行った。今後、定期的(年2回程度)に研究会を開催し、研究会での議論を踏まえて、検討・調整を進めていく。利便性の向上のため、スマートフォンで市内の公共交通機関の乗継検索ができ、現在地からの所要時間がすぐ分かる「KOBE乗継検索」のサービス提供開始や、バスロケーションシステムの実証実験を行った。また、バス事業者2社に対し、バスロケーションシステム導入のための補助支援を行った。

#### 3 地域主体の生活交通への支援

##### 【27年度の取り組み実績】

実証実験に向けて協議・調整を進めていたが、関係者との協議で合意に時間を要し、実証実験の実施に至らず、民間事業者は撤退した。引き続き、交通に課題がある地域において、高齢化や地形的な状況などの地域特性を踏まえて住民が主体的に公共交通導入に取り組む地域について優先的に取り組みを支援していく。

#### 4 自転車利用環境の整備

##### 【27年度の取り組み実績】

平成24年度に策定した「神戸市自転車利用環境総合計画」に基づき、自転車と歩行者の双方に安全で快適な道路空間の創出に向けた施策を推進している。平成27年度は、長田区の国道28号及び兵庫区の西出高松前池線などにおける自転車レーンの整備を行った。また、板宿駅など、放置自転車が多いなどの課題のある駅を中心に改善に向けた検討を行った。

### 【KPI 27年度実績】

- ・地域主体の生活交通への支援地区数 3地区(合計5地区)



# 「神戸創生戦略」「神戸2020ビジョン」 検証シート

## ●具体的な施策(2)陸・海・空の交通基盤の充実

### 1 みちのネットワークづくり

#### 【27年度の取組み実績】

大阪湾岸道路西伸部、神戸西バイパスの早期整備に向けて、国への要望活動、整備促進大会等を行い、大阪湾岸道路西伸部については、新規事業採択時評価が実施され、事業の必要性が認められた。  
また、近畿圏の新たな料金体系の導入に向けて、国土幹線道路部会において神戸市の意見を申し入れた。  
都市の円滑な交通を支えるとともに、良好な市街地の形成をはかり、安全で医道な都市生活と機能的な都市活動の基盤となる「都市計画道路」の整備を行った。  
平成27年度は、神戸三田線等において道路拡幅工事等を実施し、安全で快適な道路空間の整備を進めた。

### 2 阪神港国際コンテナ戦略港湾のさらなる推進と、多様な貨物輸送の強化を通じた神戸港の港勢拡大

#### 【27年度の取組み実績】

「集貨」については、国の集貨支援制度を活用し、瀬戸内・九州方面からの集貨を進めるとともに、国や阪神国際港湾株式会社と一体となって、国内外の荷主企業・船会社をターゲットとしたポートセールスを実施した結果、取扱貨物個数は2年連続増加し、内航フィーダーネットワークは取り組み開始前の週68便(平成26年4月時点)から週95便(平成27年12月時点)に増加した。  
「創貨」については、新たなコンテナ貨物の需要創出のため、国の創貨支援制度を活用し、ポートアイランドにおいて新たな流通加工センターの建設を進めた(平成28年4月竣工)。また、六甲アイランドでも新たな流通加工倉庫の建設が進んでいる。  
「競争力強化」については、港湾物流の基盤整備として、埠頭用地の耐震化や航路・泊地の浚渫などを国直轄事業として進めた(平成28年4月よりRC-6、7に係る六甲東水路を水深16mで暫定供用を開始)。このほか、高規格ガントリークレーンの整備などの事業を実施した。

### 3 神戸空港の機能充実

#### 【27年度の取組み実績】

(関西3空港一体運営に向けた取組み)

神戸空港コンセッションの準備作業を進めた。

(神戸空港の機能充実)

運用時間の延長、発着枠の拡大、国際チャーター便の制限の緩和、国際便の利用促進のためのCIQ体制の充実など国への要望等を行った。  
兵庫県や商工会議所、航空各社、旅行会社とともに、利用促進に取り組んだ。

#### 【KPI 27年度実績】

・阪神港の国際基幹航路等の便数(北米・欧州など)(再掲)

①欧州基幹航路 週2便

②北米基幹航路 6曜日寄航

③南米等航路 新規航路開設 未開設

・3空港一体運営による利便性向上・ネットワークの充実(就航都市数)6都市(再掲)

## ●具体的な施策(3)環境貢献都市の推進

### 1 次世代へつながる多様な分散型エネルギーの利活用

#### 【27年度の取組み実績】

水素エネルギーの利活用促進や、公有財産を活用した大規模太陽光発電の導入、国のグリーンニューディール基金を活用した防災拠点への太陽光発電と蓄電池の導入等、災害に強く環境負荷の小さい再生可能エネルギー設備の導入を促進した。また、家庭部門におけるCO2削減を進めるため、住宅用太陽光発電システムや家庭用燃料電池(エネファーム)の設置にかかる経費の一部を助成するとともに、市民や事業者へ効果的な節電方法の周知などを通じ節電を促すなど、省エネルギー対策を推進した。

# 「神戸創生戦略」「神戸2020ビジョン」 検証シート

## 2 循環型社会の実現に向けたさらなるごみ減量化の推進と低炭素社会にも資する安定的・効率的ごみ処理体制の構築

### 【27年度の取組み実績】

家庭系ごみの指定袋制度による分別の徹底を推進し、古紙等の一層の資源化を進めるため、地域における資源集団回収活動の支援等に努めたほか、レジ袋の削減や段ボールコンポストの普及啓発、びんの資源化率向上などに取り組んだ。

事業系一般廃棄物の排出区分の徹底に取り組むとともに、市の処理施設への搬入物の展開検査、クリーンステーションにおける事業系ごみの開封調査と排出事業者への指導を強化した。また、産業廃棄物についても、処理施設や排出事業所の指導等に取り組んだ。

平成27年5月から第11次グリーンセンターのプラント工事に着手し、12月には、インフラ途絶時においても、焼却炉の立ち上げに必要な電力を確保するための非常用電源設備の工事契約を締結した。また、苅藻島グリーンセンターのネットワーク拠点施設化に向けて実施設計を行った(平成28年度より各種整備に着手)。

## ●具体的な施策(4)神戸の豊かな自然を守る

### 1 緑豊かな六甲・摩耶の活性化

#### 【27年度の取組み実績】

摩耶山周辺ハイキングコース、摩耶山史跡公園エリアの整備を行った。

JR摩耶駅で、六甲山の間伐材を利用した内装やベンチの設置を行った。

六甲山上の保養所等の遊休施設利活用に向け、県と共同で六甲山土地利用プロジェクトチームの準備会を発足した。

### 2 市民との協働による神戸の生物多様性保全

#### 【27年度の取組み実績】

先人から受け継いだ神戸の豊かな自然と多様な生きものを、まもり育て次世代に引き継ぐため、「市民参加型の生物モニタリング」や生物多様性シンポジウム、あいな里山公園等における自然観察会等を開催し、幅広い層への生物多様性の浸透をはかるとともに、市民団体と協働し、神戸の生態系に影響を及ぼす外来生物の防除(アカミガメ)等に取り組んだ。

#### 【KPI 27年度実績】

・六甲・摩耶の観光入込客数 201万人(暦年)(再掲)

## 5 安心なくらしづくり

### ●具体的な施策(1)多様な住まいづくり

#### 1 神戸ブランドを牽引する住宅地の保全と育成

##### 【27年度の取組み実績】

山の手住宅地の上質なまちなみを形成している景観資源の把握のため、御影山手地区を対象に景観資源基礎調査を実施した。

#### 2 計画的開発団地(ニュータウン)のリノベーション

##### 【27年度の取組み実績】

モデル団地(須磨区高倉台・垂水区多聞台)においてリノベーションの検討を進めるとともに、北区有野台を新たにモデル団地として選定して取り組みを始めた。

また、桜の宮住宅建替事業におけるPFI事業者と契約を締結し事業に着手するとともに、東多聞台住宅建替事業の特定事業の選定を進めたほか、名谷南センターのリニューアル実施に向けて、事業者らと基本契約を締結した。

#### 3 「神戸里山暮らし」の推進

##### 【27年度の取組み実績】

地域団体が地域の特色を活かして実施する里づくり事業への支援を拡充するとともに、地域の計画づくりの一部を大学研究室やコンサルタントに委託することにより、里づくり計画の策定・見直しを進め、農村地域の魅力アップをはかった。

また、農村地域の空家や農地情報を集約し、興味のある都市住民を農村地域への移住・定住につながるコーディネーターを配置するなど、定住促進につながる支援制度を創設し、都会の利便性と田舎の心地よさを兼ね備える「神戸・里山暮らし」を促進した。

さらに、人と自然との共生ゾーンの指定等に関する条例を平成28年3月に改正し、農村定住起業等の取り組みなど規制緩和を進めた。

#### 4 市街地西部地域の活性化

##### 【27年度の取組み実績】

外部有識者と所管部署の職員による「地下鉄海岸線・市街地西部活性化コンソーシアム」を新たに設置し、民間事業者からの提案による活性化事業の実現・定着に向けた取り組み及び民間事業者間の連携を進めるとともに、新たな提案も募る等、さらなる活性化事業の創出に取り組んだ。

また、兵庫運河の活性化に向けて、新川運河周辺の夜間ライトアップ及び親水護岸の実施設計を行った。

さらに、アニメーション神戸関連事業として、「KOBEぽっぴカルチャーフェスティバル」を開催する等、市街地西部地域の活性化に取り組んだ。

## 「神戸創生戦略」「神戸2020ビジョン」 検証シート

<b>5 鈴蘭台駅周辺のまちづくり</b>
【27年度の取組み実績】 再開発ビルの敷地整備工事を完了させ、建築工事に本格的に着手した。あわせて、工事期間中のにぎわいづくりのためのイベントなどを実施した。
<b>6 こうべ空き家活用促進事業</b>
【27年度の取組み実績】 神戸市すまいとまちの安心支援センター(すまいるネット)における「空き家活用相談窓口」創設のほか、中古住宅のインスペクション及び売買瑕疵保険費用の補助制度を開始。また、一般社団法人移住・住みかえ支援機構(JTI)「マイホーム借上げ制度」の普及支援のためのセミナーや相談会を開催した。
<b>7 質の高い道路空間づくり～道路のリデザイン～</b>
【27年度の取組み実績】 今後、魅力的な公共空間を目指すにあたり、道路空間へのベンチの設置の考え方や設置基準の整理を行った。(平成28年5月 神戸市ベンチ設置指針策定)
<b>8 身近な公園の再生</b>
【27年度の取組み実績】 都心部の貴重なオープンスペースである東遊園地のさらなる活性化をめざし、「デザイン都市・神戸」の理念に基づき「都心の再整備」と連携し、芝生化実験や公募によるイベントの実施など、都心のオアシスとして相応しいサービスの提供や新たな魅力づくりについて検討を行った。 また、少子高齢化などの社会情勢の変化や市民ニーズの多様化により、機能の見直しが必要な身近な公園について魅力アップをはかるための調査を行った。

【KPI 27年度実績】
・親・子世帯の近居・同居住み替え助成事業による子世帯の計画的開発団地(ニュータウン)への流入件数 25件
・計画的開発団地(ニュータウン)の近隣センター・サブセンター・会館のリニューアル件数及び若年世帯向け新規住宅供給戸数 0件
・新規就農者数 54人(再掲)
・農村部への移住・起業数 5件(再掲)
・空き家率 不明(住宅・土地統計調査の数値によるため次回は平成30年)
・既存住宅の流通シェア率 不明(住宅・土地統計調査の数値によるため次回は平成30年)
・道路のリデザイン実施延長 0km
・身近な公園再整備数 1公園

### ●具体的な施策(2)神戸における国土強靱化の推進

<b>1 土砂災害対策、浸水対策</b>
【27年度の取組み実績】 近年頻発している土砂災害から市民の生命・財産を守るため、土砂災害の危険度を予測・判定できる「神戸市土砂災害危険度予測システム」を兵庫県と合同で構築するとともに、市有林における土砂災害対策をさらに推進した。 河川改修(表六甲水系、明石川水系など)においては、河床切り下げ等を施工し河川断面を広げることによって治水安全度を向上させた。
<b>2 地震・津波対策</b>
【27年度の取組み実績】 無電柱化の推進、下水道の施設の耐震化の推進、南海トラフ巨大地震に伴う津波対策として、平成27年度より「既成市街地の人家部及び都心部」を対象に事業着手し、東灘区、兵庫区における防潮胸壁の補強工事等を行った。
<b>3 住宅・建築物の耐震化</b>
【27年度の取組み実績】 すまいの耐震化および不特定多数の者が利用する大規模建築物の耐震化を推進するため、無料耐震診断・耐震改修補助を行ったほか、市有建築物の天井部材耐震改修の設計・工事等を実施した。

# 「神戸創生戦略」「神戸2020ビジョン」 検証シート

<p><b>4 社会基盤(道路、河川、公園、上下水道、港湾施設など)の戦略的な維持管理・更新</b></p> <p>【27年度の取り組み実績】</p> <p>橋梁については平成24年度、トンネルについては平成25年度に策定した長寿命化修繕計画に基づき、効率的・効果的な維持管理に努めた。また、災害時にも主要な道路を安全で安心して通行できるよう、道路法面の崩落対策や橋梁の耐震化を進めた。あわせて、平成26年度に改正された道路法の趣旨を踏まえ、次期橋梁長寿命化修繕計画の策定に向け、橋梁の詳細点検を進めた。</p> <p>河川管理施設については、改正された河川法の趣旨を踏まえ、平成27年度から河川管理施設の点検を行い、継続的かつ適切な維持管理に取り組んだ。</p> <p>公園については、老朽化した遊具やベンチなどの施設の改築更新を進めると同時に、長寿命化計画を策定した。</p> <p>下水道管きよについては、予防保全型の対策を実施し、計画的かつ効率的に改築更新を進めており、平成27年度は、中央区・兵庫区を中心に管きよの改築更新を行うとともに老朽化した処理場やポンプ場などの施設整備を実施した。</p>
<p><b>5 変化する都市構造や大規模多様化する自然災害に対応できる消防・救急体制の構築</b></p> <p>【27年度の取り組み実績】</p> <p>東日本大震災の教訓から、石油コンビナート等の特殊災害に特化した部隊「ドラゴンハイパー・コマンドユニット」が緊急消防援助隊に創設され、その中核車両となる消防車両2台(大型放水砲搭載ホース延長車、大容量送水ポンプ車)を配備した。</p> <p>救急需要対策として、病気やけがの緊急度や病院受診の必要性をホームページ上で確認できる「神戸市救急受診ガイド」の運用を開始した。</p> <p>聴覚障害のある市民向けに運用している「神戸市Web119番通報システム」をスマートフォンからも利用できるよう、運用を開始した。</p>
<p><b>6 建築物の防火対策</b></p> <p>【27年度の取り組み実績】</p> <p>消防法の違反を確認した対象物は、その情報が公開されるまで違反確認後半年以上を要する場合があったが、情報を早期に公開するため、国の通知に基づき、新たな公表制度を導入した。</p> <p>有床診療所・病院に対する規制強化のため平成26年度に消防法が改正されたのを受けて、医師会に対して法改正の概要を説明し、対応が必要な施設については所轄消防署に相談するよう周知し、まちの安全性の向上に取り組んだ。</p>
<p><b>7 自己決定力を高める防災基盤づくり</b></p> <p>【27年度の取り組み実績】</p> <p>大学・NPO等と連携した防災啓発事業として、「防災カフェ」や「サロン・de・防災」などの啓発イベントを開催するとともに、市内の大学生が中心となった「117KOBED防災マスタープロジェクト」や、神戸学院大学で結成された「防災女子」といった若い世代の参画も得ながら、防災啓発に取り組んだ。</p> <p>また、1月には幅広い主体が参加できる「シェイクアウト訓練」を実施し、震災に対する防災意識の向上をはかった。さらに、気軽に学べるKOBED防災啓発サイト「SONAE TO U?」を開設し、防災情報や地域活動について、市民への情報発信を行った。</p> <p>地域の事業者で構成する「三宮駅周辺地域帰宅困難者対策協議会」において、平時からの準備や帰宅困難者発生時の対応について、具体的な行動の在り方を示す「三宮駅周辺地域帰宅困難者対策計画」を策定した。</p>
<p><b>8 密集市街地の再生</b></p> <p>【27年度の取り組み実績】</p> <p>「密集市街地再生方針」に基づき安全で安心な防災まちづくりを推進するため、密集市街地再生優先地区を中心にまちなか防災空地の整備、共同建替の支援、細街路の整備等を実施した。</p>

<p>【KPI 27年度実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・河川改修 282m</li> <li>・橋梁改良 2橋(改修中)</li> <li>・上下水道の送水バックアップ率 60%(平成27年度) ※大容量送水管の完成に伴い、平成28年度には73%になる見込み</li> <li>・污水管きよの再構築(耐震化)済エリア内昼間人口 15万人</li> <li>・防潮堤の補強延長 胸壁改良1,300m、道路嵩上げ1箇所(胸壁進捗率：11%)</li> <li>・橋梁(緊急輸送道路に架かる15m以上の橋梁)の耐震化率 72.3%</li> <li>・住宅の現況耐震化率 -</li> <li>・多数の者が利用する建築物の現況耐震化率 -</li> <li>・地区防災計画策定数 ※計画期間対象外</li> <li>・まちなか防災空地整備件数 20箇所</li> </ul>
--

# 「神戸創生戦略」「神戸2020ビジョン」 検証シート

## ●具体的な施策(3)健康寿命の延伸

### 1 健康寿命の延伸

#### 【27年度の取組み実績】

特定健診の受診率向上のため、平成27年度から特定健診とがん検診、保健指導を同日に受けることのできるセット健診の実施、土日に受けられる健診会場を増やすなど、受診者の利便性の向上に努めた。さらに、働く世代の大腸がん検診や女性特有のがん検診対象者への無料クーポン券送付や個別受診勧奨の実施により受診率向上を目指すとともに、在宅介護支援や相談支援・就労支援情報の提供などによるがん患者等の支援に取り組んだ。

健康寿命の延伸に向けた取り組みとして、民間事業者・関係団体等協働による介護予防啓発イベント活動「いきいきシニアライフフェア」を開催し、高齢者はじめとする全世代に介護予防について広く普及啓発を行った。また、ネスレ日本と連携協定結び介護予防カフェ」による高齢者のつどい場づくり支援を行うなど介護予防に関する意識を高めると共に、介護予防に取り組む高齢者のモチベーション維持・向上をはかった。

さらに、地域支え合い推進員を配置することで、ボランティア等の担い手発掘や自主的な介護予防活動の支援を行い、元気な高齢者や地

### 2 計画的開発団地(ニュータウン)のリノベーション

#### 【27年度の取組み実績】

モデル団地(須磨区高倉台・垂水区多聞台)においてリノベーションの検討を進めるとともに、北区有野台を新たにモデル団地として選定して取り組みを始めた。

また、桜の宮住宅建替事業におけるPFI事業者と契約を締結し事業に着手するとともに、東多聞台住宅建替事業の特定事業の選定を進めたほか、名谷南センターのリニューアル実施に向けて、事業者らと基本契約を締結した。

### 3 神戸医療産業都市の推進

#### 【27年度の取組み実績】

文部科学省の新規事業である、「世界に誇る地域発研究開発・実証拠点(リサーチコンプレックス)推進プログラム」に、全国で唯一本採択され(平成27年11月時点)、「健康科学」に根差した様々な産業の創出を目指して事業に取り組んだ。

進出を希望する企業の増加に伴うレンタルラボ不足を解消するため、「神戸医療イノベーションセンター」の整備に着手した。

次世代抗体医薬品の開発拠点の整備等が進み、医療関連進出企業が316社(平成27年度末時点)となった。

#### 【KPI 27年度実績】

- ・親・子世帯の近居・同居住み替え助成事業による子世帯の計画的開発団地(ニュータウン)への流入件数 25件(再掲)
- ・計画的開発団地(ニュータウン)の近隣センター・サブセンター・会館のリニューアル件数及び若年世帯向け新規住宅供給戸数 0件(再掲)
- ・誘致企業数(医療関連企業を含む) 53社(再掲)
- ・雇用創出数(医療関連企業を含む) 1,480人(再掲)

## ●具体的な施策(4)安全・安心な地域づくり

### 1 地域医療体制の充実と医療介護連携の推進

#### 【27年度の取組み実績】

効率的かつ質の高い医療提供体制を構築するため、「兵庫県地域医療構想」の策定に向けて、神戸圏域の施策検討に関する有識者会議を開催し、課題の整理と具体的施策を検討した。また、新公立病院改革ガイドラインに基づいた再編・ネットワーク化に取り組み、西神戸医療センターを運営する一般財団法人神戸市地域医療振興財団の事業を地方独立行政法人神戸市民病院機構に移管するための準備を進めた。

医療・介護連携については、地域包括ケアシステムの構築に向け、医療・介護関係者からの在宅医療に関する相談受付や、多職種連携会議の開催等の事業を中心的に担う「在宅医療・介護連携支援センター」の設置準備を進めた。

### 2 健康危機管理の体制(神戸モデル)の強化

#### 【27年度の取組み実績】

感染症の予防・早期発見をはかるため、市内の学校や社会福祉施設等を巡回指導する感染症訪問指導員の配置により健康危機管理体制強化に取り組んだ。

### 3 不適切な状態で放置されている空き地・空き家及びごみ屋敷への対策

#### 【27年度の取組み実績】

平成28年2月に空家等対策の推進に関する特別措置法に基づく「神戸市空家等対策計画」を策定。

平成28年10月に全施行した「神戸市空家空地対策の推進に関する条例」に向けての他都市調査、関係機関との調整を行った。

ごみ屋敷対策について現状把握、他都市調査、条例化等の検討を行った。

## 「神戸創生戦略」「神戸2020ビジョン」 検証シート

### 4 HACCPの導入の推進

#### 【27年度の実績】

平成26年5月に厚生労働省がHACCPによる衛生管理の普及促進について指針を示したことを受け、平成28年1月に「神戸市食品衛生法に基づく公衆衛生上講ずべき措置の基準に関する要綱」の改正を行い、平成28年4月1日よりHACCPによる衛生管理を行う場合の届出制度を設けた。

### 5 地域における防犯対策の強化

#### 【27年度の実績】

平成24年度より実施している防犯カメラ設置補助事業では、これまでの補助に加えて、自立柱を設置する場合の補助制度を平成27年度に新たに導入し、合計556か所の補助を実施した。

また、青色防犯パトロールの物品支給や、こうべまちづくり学校において防犯活動の人材育成を行うなど、地域で取り組まれている防犯活動に対する支援を実施した。

## ●具体的な施策(5)ユニバーサルデザインのまちづくり

### 1 ユニバーサルデザインの普及・啓発

#### 【27年度の実績】

小学校への「みちの学校」や大学生の「神戸空港UD見学会」、市民ボランティアと連携して、「親子UD体験教室」「こうべユニバーサルデザインフェア」「小中学校へのUDの出前授業」等を開催・実施し、普及・啓発に取り組んだ。

### 2 誰もがくらしやすいまちづくりの推進

#### 【27年度の実績】

高齢者、障害者等、誰もが外出しやすいまちづくりを推進するため、鉄道駅舎のバリアフリー化やノンステップバス導入を支援するとともに、事業者等と連携・協力し、神戸市バリアフリー基本構想の推進に取り組むほか、誰もが使いやすいまちづくり、公園づくりに取り組んだ。

### 3 心のバリアフリーの推進

#### 【27年度の実績】

高齢者、障がいのある人、妊娠中の人などへの配慮の必要性や適正な支援方法について理解を深めるため、鉄道事業者や公共施設の職員を中心とした「心のバリアフリー研修」を実施した。

また、平成27年4月に施行された「神戸市みんなの手話言語条例」に基づいて、基本的な手話が学べる動画を制作し、神戸市ホームページ上で配信するなど、手話への理解の促進及び手話の普及のための施策を実施した。

### 4 障がい者差別の解消

#### 【27年度の実績】

「ふれあいのまちKOBЕ・愛の輪運動」との連携により障害者に対する理解の促進をはかるとともに、障害のある方に向けた広報印刷物の点字化や音声コードの貼付を進め、障害に関する理解を深めるための市民フォーラムの開催など、障害者差別解消法の施行に向けた取り組みを進めた。

#### 【KPI 27年度実績】

- ・こどもや学生への出前授業等の受講者数 ※計画期間対象外
- ・神戸市バリアフリー基本構想において選定された重点整備地区における生活関連経路等のバリアフリー化 0.61 km
- ・歩道の段差・波打ちの解消 1.5km
- ・公園における主要園路の段差解消等 55%
- ・地下鉄駅施設における計画的なバリアフリー整備の推進 西神・山手線三宮駅ホームドアの設置 実施設計業務を実施

## ●具体的な施策(6)地域福祉基盤の強化

### 1 「地域福祉のプラットフォーム」の構築

#### 【27年度の実績】

「地域福祉ネットワーク」を全区に拡充配置し、複合化した福祉課題の解決に向けて、地域関係機関とのネットワークの構築、課題共有など、地域で支え合う仕組みづくりを進めた。

## ●具体的な施策(7)貧困の連鎖防止に向けた取り組み

### 1 包括的な自立相談支援

#### 【27年度の実績】

各区に自立相談支援窓口として「くらし支援窓口」を11か所設置し、生活困窮者等からの生活や仕事に関する相談を幅広く受け、自立に向けて寄り添った支援を行った。また、関係機関と連携し、包括的な相談支援を実施した。

# 「神戸創生戦略」「神戸2020ビジョン」 検証シート

<b>2 就労の場の確保に向けた支援</b>
【27年度の実績】 生活困窮者や生活保護受給者のうち、直ちに一般就労が困難な者に対して、基礎能力の形成や就労体験の提供などを行う就労準備支援事業を実施した。
<b>3 子どもの学習支援</b>
【27年度の実績】 生活困窮者世帯、生活保護世帯の主に中学生を対象に、全区において、短期集中形式も含めて集合型の個別学習会や保護者に対する養育支援を行った。
<b>4 住宅セーフティネットの構築</b>
【27年度の実績】 市営住宅について、より困窮度の高い市民が入居しやすいように導入した市営住宅募集におけるポイント方式について、要領の改正を行い、申込者の負担を減らすとともに、より住宅困窮度の高い方が当選するようにした(最終平成28年1月パブリックコメント実施)。また、先着順で申し込みを受け付ける市営住宅常時募集において若年単身者の申込資格を認めるよう条例改正を行った。 大学生に対して、自治会等地域活動への参加を条件に市営住宅の一時使用を認め、コミュニティの活性化を図った。 「貧困の連鎖防止に関する庁内検討会」を設置し、困窮する子育て世帯や若年層等に対する住宅セーフティネットのあり方について検討を進めた。

## ●具体的な施策(8)障がい者が安心して暮らせるための支援

<b>1 住まいの確保</b>
【27年度の実績】 住まいとなるグループホームについて、施設の改修にかかる経費の助成や、市営住宅の空き住戸を利用した整備を進め、重症心身障害者対応の短期入所施設の整備を推進した。
<b>2 障がい者が働く意欲を引き出せる多様な働き方の創造</b>
【27年度の実績】 神戸市障害者就労推進センターを運営し、関係機関と連携をはかりながら就労支援を推進した。また、しごと開拓員を地域障害者就労推進センターに配置し、雇用先や体験就労の場の開拓や、作業受託の増にとり組んだ。このほか、特例子会社設立助成、「ふれあい商品」の商品力向上支援などを行った。
<b>3 障がい者差別の解消</b>
【27年度の実績】 「ふれあいのまちKOBЕ・愛の輪運動」との連携により障害者に対する理解の促進をはかるとともに、障害のある方に向けた広報印刷物の点字化や音声コードの貼付を進め、障害に関する理解を深めるための市民フォーラムの開催など、障害者差別解消法の施行に向けた取り組みを進めた。

【KPI 27年度実績】 ・グループホーム(定員数) 586人
------------------------------------

## 6 地域と地域の連携づくり

### ●具体的な施策(1)顔の見える地域社会づくりと支えあい活動の推進

<b>1 総合的・自律的な地域コミュニティの環境づくり</b>
【27年度の実績】 「コミュニティ行政のあり方プロジェクトチーム」を設置し、「神戸市地域コミュニティ施策の基本指針」、「神戸市地域活動に関する補助金などの交付の手続きに関する要綱」を策定した。 まちづくりの専門知識や経験を有する「コミュニティ活性化アドバイザー」を須磨区、垂水区に派遣し、地域内の各種団体の把握とヒアリング調査、自治会活動支援等を行った。 「地域活動サポーター養成講座」の募集対象を市内全域に広げ、地域活動参加者の育成をはかった。 「パートナーシップ活動助成」については、少額でも複数年度助成してほしいという地域のニーズに応えるため複数年度コースの助成、市から提示したテーマに沿った活動に対して助成するテーマ別の助成制度を新たに設けた。
<b>2 「地域福祉のプラットフォーム」の構築</b>
【27年度の実績】 「地域福祉ネットワーク」を全区に拡充配置し、複合化した福祉課題の解決に向けて、地域関係機関とのネットワークの構築、課題共有など、地域で支え合う仕組みづくりを進めた。

# 「神戸創生戦略」「神戸2020ビジョン」 検証シート

## ●具体的な施策(2)市民とつながる区役所改革

### 1 さらなる市民サービスの向上

#### 【27年度の取組み実績】

社会保障・税番号制度の本格実施にあわせて、個人番号カードを利用した証明書コンビニ交付サービスを開始するとともに、引き続き、月2回(第2・第4木曜日)の区役所窓口時間の延長を実施しているほか、繁忙期における日曜開庁、年末開庁を実施するなど窓口サービスの向上に向けて取り組んだ。

### 2 区役所機能の充実

#### 【27年度の取組み実績】

区のまちづくりの推進としては、地域を重視する観点から、「区の個性をのばすまちづくり事業」に重点的に取り組むなど、地域に最も近い区役所の機能強化をはかり、地域ニーズによりきめ細かく対応した。

また、兵庫県庁舎の実施設計等を行うとともに、北区庁舎の鈴蘭台駅前再開発ビルへの移転に向けて関係各所との調整を進めた。

## ●具体的な施策(3)都市間連携

### 1 近隣市町との連携

#### 【27年度の取組み実績】

水平連携により、市域を越えた豊かで利便性の高い広域生活圏の構築をはかるとともに、圏域の魅力発信に取り組んだ。

### 2 水道の安定供給体制強化に向けた県下市町との広域連携の検討と技術連携

#### 【27年度の取組み実績】

広報連携(YouTubeを活用した広告)や水質検査の受託、技術連携、共同研修会を実施。

5事業者で、工業用水の広域化に向けて協議・検討を行った。

「阪神地域の水供給最適化研究会」を発足した。

緊急時連絡管については、整備を進め、平成27年度末現在で、隣接都市(芦屋市・西宮市・明石市・三田市・三木市)との間に9箇所を整備が完了し、1日あたり約4万7千人相当への供給が可能となった。

#### 【KPI 27年度実績】

・県及び近隣市町との連携による取組み件数 2件

・近隣市町との緊急時連絡管整備箇所数 0箇所 ※平成28年度には芦屋市・稲美町の2箇所が完成予定

## ●具体的な施策(4)県市協調

### 1 県市協調

#### 【27年度の取組み実績】

兵庫県・神戸市政策調整会議等を通じ兵庫県との連携を推進した。

### 2 新長田駅南再開発エリアへの兵庫県・神戸市関係機関の共同移転

#### 【27年度の取組み実績】

平成27年度は、兵庫県等、各関係機関と移転に向けて協議を進めた。

### 3 県・市の中小企業支援機関の集約化

#### 【27年度の取組み実績】

なし(28年度～)

#### 【KPI 27年度実績】

・県及び近隣市町との連携による取組み件数 2件(再掲)

・新長田駅南再開発エリアの夜間人口 5,834人(平成28年3月)(再掲)

・新長田駅南再開発エリアの昼間人口 3,573人(平成26年7月)(再掲)



# 「神戸創生戦略」「神戸2020ビジョン」 検証シート

## 地域活性化・地域住民生活等緊急支援交付金(地方創生先行型) 事業

### 1 神戸2020ビジョン・地方版総合戦略策定事業

#### 【事業の概要】

神戸市の人口はH23をピークに減少傾向が続いている。神戸の成長力を安定的に確保するには、早急に人口減少問題への対策を検討し、実行する必要があることから、本市次期実行計画（神戸2020ビジョン）の策定にあわせ、まち・ひと・しごと創生長期ビジョン及び総合戦略を踏まえた、神戸市地方人口ビジョン及び地方版総合戦略を策定する。

#### 【27年度実績】

産官学金労言及び住民、議会の幅広い層からなる「2020神戸創生懇話会」を設置し、人口減少に対応する神戸創生戦略の策定に関して、大局的な観点から意見を聴取し、「神戸創生戦略」及び「神戸2020ビジョン」を策定した。

### 2 神戸創生プロジェクト事業

#### 【事業の概要】

外部有識者を活用した官民の協働プロジェクトチームを設置するとともに、神戸の新たな都市産業・都市文化の創出を目的に「神戸創生新たな都市魅力・活力創造プロジェクト」として民間からの事業提案募集を実施し、人口減少問題に対する具体的施策の検討及び試行的施策を実施する。

#### 【KPI 27年度実績】 ()内は目標値

- ・試行的施策の実施 3事業(2事業)
- ・「協創プロジェクト」(神戸の新たな都市産業・都市文化を創出する官民協働のプロジェクト)の指定及び実施 3件(3件)

### 3 シティプロモーション戦略構築事業

#### 【事業の概要】

「市民・職員協働プロジェクトチーム」での検討を踏まえ、市外在住の若年層をターゲットに、都市プロモーションサイトの構築や暮らし体験事業「LIVELOVEKOBE」を実施した。

また、経済観光局と連携した小冊子の発行等により、神戸の居住地としての魅力を首都圏に向けて広くPRした。

#### 【KPI 27年度実績】 ()内は目標値

- ・移住に関する具体的な相談数 106件(100件) ※暮らし体験事業の体験者 42名を含む

### 4 対内直接投資促進事業

#### 【事業の概要】

地方自治体の首長自らが、地域の優位性、ビジネス環境、インセンティブ情報等を直接PRすることにより、外国企業の誘致促進を図り、産業構造の多種機能化、雇用増、都市力を向上させる。

#### 【KPI 27年度実績】 ()内は目標値

- ・外国・外資系企業の神戸への誘致件数 10件(10件)

# 「神戸創生戦略」「神戸2020ビジョン」 検証シート

## 地域活性化・地域住民生活等緊急支援交付金(地方創生先行型) 事業

### 5 起業・創業支援事業

#### 【事業の概要】

神戸経済の持続的成長を目指すためには、ITを活用し、社会活動や企業活動にイノベーションを引き起こす「成長型起業家」を集積させ、それを成長させていくことが必要と考えられる。国内外で実施されている起業家支援プログラムを参考に、優秀な起業家候補を神戸に呼び込み、育成させる仕組みを構築するとともに、学生等の起業家マインドの醸成を図るプログラムを実施する。

#### 【KPI 27年度実績】 ()内は目標値

- ・重点支援者数 5人(社)(5人(社))
- ・IT分野の起業家派遣プログラム実施数 2校(3校)
- ・シリコンバレー派遣人数 16人(20人)
- ・国内外のITベンチャーと市内事業者のマッチング事業回数 6回(6回)

### 6 新事業展開支援(中小企業支援)事業

#### 【事業の概要】

今後大きく成長が見込まれる航空宇宙分野への市内中小製造業の参入を強力に後押し、新たな基幹産業として育成することにより、神戸経済の活性化につなげる。

#### 【KPI 27年度実績】 ()内は目標値

- ・企業グループによる展示会等出展回数 3回(3回)
- ・航空機メーカーからの受注獲得等支援件数 2件(5件)
- ・航空宇宙産業育成勉強会の実施回数 4回(3回)

### 7 戦略的プロモーション(観光振興)事業

#### 【事業の概要】

国内外から神戸市内への観光客数を増加させ、市内観光事業者への経済波及により、地域活性化を図る。

国内向けには、ビッグデータを活用したマーケティング手法を駆使して立案したプロモーション戦略に基づき、ターゲットを明確にした誘客プロモーションを展開する。

海外向けには、海外(タイ)に神戸の営業拠点を設け、情報発信力・情報収集力等の強化を図るとともに、海外向けウェブサイトの充実を図る。

また、訪日外国人旅行者を中心とした観光客に対して、ニーズの高いエリアでの公衆無線LAN環境を提供し、受入環境の整備を行う。

#### 【KPI 27年度実績】 ()内は目標値

- ・神戸市宿泊率 19%(19%)

### 8 神戸里山暮らし推進事業

#### 【事業の概要】

神戸市北区・西区の市街化調整区域にある農村地域では、秩序ある土地利用を推進し、良好な農村環境を保全してきた一方、人口減・高齢化が進行している。そこで、農村地域の魅力アップを図り、一時的な交流から里山暮らしへとつなげる定住促進策を総合的に展開する。

#### 【KPI 27年度実績】 ()内は目標値

- ・年間交流人数 6,989人(1,000人)
- ・農村移住について具体的な相談を行っている数(定住促進コーディネーターが把握した件数) 63件(10件)

# 「神戸創生戦略」「神戸2020ビジョン」 検証シート

## 地域活性化・地域住民生活等緊急支援交付金(地方創生先行型) 事業

### 9 商店街・小売市場の活性化事業

#### 【事業の概要】

高齢化や人手不足、空き店舗の増加、住民ニーズの多様化といった商店街・小売市場の課題に対応するため、寄り添い型の人的サポートや、民間アイデアの導入、卸・仲卸と連携した商品開発等を実施するにより商店街・小売市場の活性化を図る。

#### 【KPI 27年度実績】 ()内は目標値

- ・「応援隊」によるサポート回数697件(1,000件)
- ・民間事業者と商店街等のマッチング2件(2件)

### 10 「食都神戸 2020」構想の推進

#### 【事業の概要】

神戸産農水産物の価値をわかりやすく消費者に伝え、生産者の経済的利益の向上、担い手の確保につなげるため、農水産物の輸出やブランド化に取り組みとともに、食ビジネスを育て、食ビジネスを活かし、街の活性化と経済の発展につなげる複合的な施策として「食都神戸 2020」構想を推進する。

#### 【KPI 27年度実績】 ()内は目標値

- ・神戸産農水産物に関するセミナー等受講者数:1,692人(1,000人)
- ・神戸産農水産物の活用を促進する市のプロジェクトに参画する企業等の数:121社(100社)
- ・神戸産農水産物の輸出品目数:3品目(7品目)

### 11 新事業創発プログラム(神戸創生会議)の開催

#### 【事業の概要】

神戸経済の持続的成長を目指すためには、地元の事業者・人材がイノベーションを引き起こすことが必要である。全く新しい着眼点で社会課題に立ち向かう全国の革新者と、神戸における次代の経営者層などニューリーダー人材との「化学反応」によって、新しい事業を創発する仕組みを構築する。

#### 【KPI 27年度実績】 ()内は目標値

- ・次代の経営者層などニューリーダー人材による新事業の種の創出 20件(2件)
- ※新事業の種…神戸の企業経営者等が、国内外から集められる革新的経営者と交わることで生み出される新しい事業プランや第二創業のためのアイデアなどで、人口減少に対応するもの

### 12 食を活用したインバウンドPR事業

#### 【事業の概要】

紙媒体、ソーシャルメディア、ダイレクトメールなどを組み合わせ、複層的にインバウンドPRを行い、国際観光の振興を図る。

#### 【KPI 27年度実績】 ()内は目標値

- ・観光公式サイトFeelKOB中国語サイト新規訪問者数 180,447件(176,000件)